

みんなのスペース

皆さんから寄せられたお便りや作品を紹介します。「広報やまだ」の感想などもお寄せください。

年賀状

先人の言葉に「一年の計は元旦にあり」と歌った有名な句があります。新年のごあいさつを先輩諸氏や親しかった同僚、年中お世話になった方、更には知人友人と幅広く、お付き合いの会った方々へ感謝の念を表し、1

月1日に日本古来のごあいさつの在り方として心を込めて賀状を差し上げ、旧交を温め合う絶好の機会と自分なりに理解をしております。皆さまはいかがでしょうか。

このように年賀状は年の初めのお祝いなど、いわば単純に喜び合い、最初の楽しみでもあります。そうは言っても、先の震災で避難されている方も多く住所も分からずに欠礼を余儀なくし、大変申し訳なく心苦しく思い、お許しただきたいと思えます。

賀状の意義の一端を申し述べましたが、甚だ勝手ながら紙面をお借りしまして素朴な気持ちで伝えたいと思います。

縁がありましても、賀状の届かなかつた方もおられると思いますが、ご容赦の程をお願い申し上げます。

西館隆（船越・?）

自然に心いやされて

朝日さす仮設の部屋で賀正書く。2年目のお正月をつつがなく迎えることができました。大津波を思うと、自然である時は脅威になり、ある時は季節



の移ろいで心を満たしてくれま

早春は若葉が芽吹き野馬のさえずり、桜が咲き満ちて春風に舞う花吹雪の風情に心休めて、夏には蝉しぐれを聞きながら古里の夏祭りに心誘われ、秋の夜はすだく虫の音、か細く聞こえる声に、つぶやく亡き友人かなと無性に恋しくなり、そつと庭に出て、聞いているから鳴いて、と…

津波を思うとパニックで心が折れそうになりますが、木々に綿帽子の冬景色に和むなど、自然に心寄せれば感動もあり、仮設生活を楽しんでこえてと、励まされていく日々であります。

菊地 サカエ（織笠・77）

黒昆布に愛称を

「コマヒル昆布」はいかが

「続日本記」靈龜元年（715）10月29日の条より

「又蝦夷須賀君古麻比留等言、先祖以来、貢献昆布、常採此地…」

訳「すかのきみ こまひるが申し上げます。先祖の代よりこの地で昆布を採り毎年欠かすことなく献上してまいりました。しかし国府までの道は遠く、運搬に困難をきたしております。そこで閉村に群家を建てていたできたたく存じます。そうすれば親族や領民を率いて永く仕え献上を欠くことはありません」（山田町教育委員会「埋蔵文化財展」資料）



山田町大浦の漣磯須賀沖の岩場に繁茂している昆布。以前は真昆布と称し、岩手県漁連で共同販売するにおいて商品名を黒昆布とした。細布昆布（メノコ）とは別で、ぬめりがなく甘い。正月や盆に神仏に供える昆布でお煮しめのだしに最適とされ、料理方法は各人が得意とする手法を持っている。

この昆布に愛称をつけて広く普及して味わってもらいたい。「古麻比留献上の昆布は大浦の真昆布」と仮説を立て大浦郷土史研究会会報第10号で発表している。

川端 弘行（大浦・79）

津波は必ずくる

新しい年を祝う。我が国家と家族の安泰を祈念致す。

正月、気象予報の通り太平洋側は風もなく素晴らしい冬晴れ。一方、日本海の方は曇り、雪といった典型的な冬型の天気。日本海と太平洋と二分したる天気、童謡のように空より広い東北のお天気である。

テレビでは新春でも季節は冬である。正に長い冬の始まり、3月まで冬。でも忘れがたき3月11日、二周年が来る。あの3月、被災地各地で真冬の体感。

被災と寒さとの闘いで大変であった。

この寒い1月の17日、この日は何の日かご存知でしょうか。そう聞かれても大方の人が？
：今から18年も前（平成7年1月17日）阪神・淡路大震災、18周年の日。1月17日も雪であつたのを記憶しているが、この日より数えて45日後の昭和8年の3月3日の昭和三陸地震の日。そして3月9日、岩手県下の地震に伴う津波の注意報が発



令されるが、注意報かと軽視？の傾向があつた。2日後の3月11日午後2時46分ごろ、史上最大と言われる大惨事に至っている。3月には昭和の大震災、平成の大震災と2回の災害のほか、昭和35年千り津波の日もある。誠に奇異に感じる。

山崎 卓三（大浦・？）

やまだ文芸広場

湿気寒むは

風寒むよりも冷たかり

仮設住まひの人ら思う

生きるとは

老いゆることなり老いてなほ

活潑潑地と生きたし余生

内館 洋一（飯岡・？）

三が日 妻にもやりたい お年玉

佐藤 兼男（荒川・85）

ニコニコ笑顔、

寒さ吹飛ぶ

春よ来い。

佐藤 啓子（山田・？）



イラストコーナー

おはなはん（7）



香（？）



孝（？）



ゆっさん（5）



リンカーン（10）



茜（？）



みんなのスペース作品募集中！

イラスト 写真 文芸 投書

◆投稿規定 ▶住所、氏名、年齢、電話番号を明記し、ペンネーム・匿名での掲載を希望する方はその旨を付け加えてください▶営利・政治的活動を目的としたものや特定の個人・団体をひぼう・中傷するものは掲載しません▶400字を超える投書は添削することがあります▶写真は町内で撮影したもので、1枚（プリントまたはデータ）にタイトル、コメント（30字程度）を添えて郵送、持参またはEメール（info@town.yamada.iwate.jp）で応募ください。

◆あて先・問い合わせ 〒028-1392（住所不要）山田町役場総務課情報係（☎82-3111内線417）へ。